

文学の散歩道 入選作品 師走（十二月）

短歌

「よい年を迎えて」と言ふ病室で
母の笑顔にほっと一息
守山市 小島 京子

様々な事のあり来て暮れ行きぬ
柿をむきつゝ夫と語ろう
近江富士 林 くみ子

お元気でいらっしやいますかと案じつゝ
今年も咲いたとフキは色紙に
行畑 和田 民子

俳句

主居ぬ椅子にも慣れよ寒椿
高木 都人

落葉蹴り今朝の登校青い靴
近江富士 中村 城啓

釜鳴りのただ無にありて静心
小南 木楽蜻蛉

川柳

童謡とまるで違うよ森の熊
守山市 大本 繁利

うるさいと言われつ六十年世話女房
行畑 和田 民子

妻の声温水プール風邪ひくな
近江富士 中村 城啓

冠句

（ひと区切り）

ひと区切り 一役離れ深呼吸
竜王町 和美

ひと区切り 家族で漕ぎ出す未来船
高木 都人

ひと区切り ページを閉じて深呼吸
三上 櫻木 博子



次回 睦月（一月）の題目

冠句【揃う卓】

お問合せ 文化スポーツ振興課

電話：〇七七（五一六）四五六八